

第3学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第3学年3組

指導者 藪田 洋士

- 1 主題名 思いやりの心 [内容項目] B 親切、思いやり
 教材名 「六べえじいとちよ」(出典：東京書籍 新しいどうとく③)

2 本時について

(1) ねらい

相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	主な発問(発問○ 中心発問◎) 予想される児童の反応(C)	・指導上の留意点 ◇評価規準(評価方法)
導入	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習との関連性を考える。 ○親切な人とは、どんな人だと思いますか。(尊) C優しい人。 C助けてあげられる人。	・「一さつのおくりもの」の学習についてのまとめのスライドを通して、親切にすることについて振り返る。
展開	2 教材「六べえじいとちよ」を読んで話し合う。 ○ちよが、六べえじいの家に毎日通い続けたのは、どのような思いからでしょう。 C六べえじいがかわいそうだから。 C六べえじいのことが心配だから。 ◎六べえじいの心が変わったのはなぜでしょう。(尊)(表) Cちよが本当に自分のことを心配してくれていることが伝わったから。 Cちよが本当に自分のことを気にしてくれていることが分かり、嬉しかったから。 C世の中にはちよのような優しい人もいることを思い出し、勇気づけられたから。 3 身の回りの親切について考える。 ○これまでにどのような親切をしてもらったことがありますか。(表)(言)	・六べえじいの置かれている状況や気持ちを想像できるような発問をすることで、ちよの六べえじいに対する思いを想像できるようにする。 ・六べえじいとちよと村人の気持ちを、対比して板書することを通して、それぞれの登場人物の気持ちの違いが分かるようにする。 ◇ちよの行動から、親切とは何かについて考えている。(発言・ワークシート) ・これまでの経験から、どのような親切があったかを振り返るようにする。

	<p>C給食をこぼしてしまったときに、一緒にふいてもらった。</p> <p>C一人でいたら、一緒に遊ぼうとさそってもらった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話聞き、より深く親切について考えられるようにする。 ◇自分の身の回りの親切について考え、その素晴らしさに気づき、これからの生活に生かそうとしている。(発言・ワークシート)
終末	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の過去の経験等について話し、相手のことを考え、すすんで親切な行為をすることについて自分なりの考えを深めさせる。

(3) 板書計画

